

6 食中毒

(1) 食中毒の発生状況

ア 概況

平成27年に、海外を原因とする事件を除く広島県内で発生した食中毒は69件、有症者数は952人であり、前年と比較すると、事件数は26件減少し、有症者数は150人増加した。なお、集団食中毒は15件、有症者数は880人であった。

過去3年間の事件数等の推移は次のとおりである。

年	広島県					全国				
	事件数	有症者数	死者数	罹患率	1事件当たりの有症者数	事件数	有症者数	死者数	罹患率	1事件当たりの有症者数
27	69 (15)	952 (880)	0	33.7	13.8 (58.7)	1,202	22,718	6	17.9	18.9
26	95 (22)	802 (705)	0	28.3	8.4 (32.0)	976	19,355	2	15.2	19.8
25	71 (12)	269 (200)	0	9.5	3.8 (16.7)	931	20,802	1	16.3	22.3

(注) 罹患率は、人口10万人に対するものである。

(注) ()内は集団食中毒(有症者6人以上)の発生状況である。

イ 病因物質別発生状況

広島県内の病因物質別の発生状況は、細菌によるものが42件(60.9%)、54人(5.7%)であり、ノロウイルスによるものが13件(18.8%)、852人(89.5%)、動物性自然毒によるものが6件(8.7%)、11人(1.2%)、植物性自然毒によるものが1件(1.4%)、4人(0.4%)、その他が7件(10.1%)、31人(3.3%)であった。

病因物質	食中毒		集団(再掲)		散发(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総数	69 (100)	952 (100)	15 (100)	880 (100)	54 (100)	72 (100)
細菌総数	42 (60.9)	54 (5.7)	1 (6.7)	7 (0.8)	41 (75.9)	47 (65.3)
カンピロバクター	42 (60.9)	54 (5.7)	1 (6.7)	7 (0.8)	41 (75.9)	47 (65.3)
サルモネラ属菌	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
黄色ブドウ球菌	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
腸管出血性大腸菌 以外の病原大腸菌	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ウエルシュ菌	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
ノロウイルス	13 (18.8)	852 (89.5)	13 (86.7)	852 (96.8)	0 (0.0)	0 (0.0)
動物性自然毒	6 (8.7)	11 (1.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (11.1)	11 (15.3)
植物性自然毒	1 (1.4)	4 (0.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.9)	4 (5.6)
その他	7 (10.1)	31 (3.3)	1 (6.67)	21 (2.4)	6 (11.1)	10 (13.9)
不明	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)

ウ 原因施設別発生状況

(ア) 原因施設別の発生状況は、原因施設が判明したものが24件(34.8%)、899人(94.4%)、原因施設が不明のものが45件(65.2%)、53人(5.6%)であった。

原因施設 判明の有無	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総計	69 (100)	952 (100)	15 (100)	880 (100)	54 (100)	72 (100)
原因施設が判明したもの	24 (34.8)	899 (94.4)	15 (100)	880 (100)	9 (16.7)	19 (26.4)
原因施設が不明のもの	45 (65.2)	53 (5.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	45 (83.3)	53 (73.6)

(イ) 原因施設が判明したものの件数の多い順は、飲食店(一般, 仕出し, 旅館)が10件(41.7%)、696人(77.4%)、家庭が8件(33.3%)、17人(1.9%)、製造所が2件(8.3%)、86人(9.6%)、学校が2件(8.3%)、58人(6.5%)、給食施設が2件(8.3%)、42人(4.7%)であった。

原因施設		食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)	
		事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
原因施設が判明したもの		24 (100)	899 (100)	15 (100)	880 (100)	9 (100)	19 (100)
飲食店	一般	4 (16.7)	204 (22.7)	3 (26.7)	202 (23.0)	1 (11.1)	2 (10.5)
	仕出し	3 (12.5)	222 (24.7)	3 (12.5)	222 (24.7)		
	旅館	3 (12.5)	270 (30.0)	3 (12.5)	270 (30.0)		
家庭		8 (33.3)	17 (1.9)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (33.3)	17 (33.3)
製造所		2 (8.3)	86 (9.6)	2 (8.3)	86 (9.6)		
学校		2 (8.3)	58 (6.5)	2 (8.3)	58 (6.5)		
給食施設		2 (8.3)	42 (4.7)	2 (8.3)	42 (4.7)		

エ 原因食品別発生状況

(ア) 原因食品の判明したものが26件(37.7%)、901人(94.6%)、不明のものが43件(62.3%)、51人(5.4%)であった。

原因食品 判明の有無	食中毒		集団(再掲)		散発(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
総計	69 (100)	952 (100)	15 (100)	880 (100)	54 (100)	72 (100)
原因食品が判明したもの	26 (37.7)	901 (94.6)	15 (100)	880 (100)	11 (12.3)	21 (19.6)
不明のもの	43 (62.3)	51 (5.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	43 (87.7)	51 (80.4)

(イ) 原因食品が判明したものの件数は、食事特定が12件(46.2%)、773人(85.8%)、フグが6件(54.5%)、11人(52.4%)、魚介類(その他)が5件(19.2%)、27人(3.0%)、菓子類が2件(7.7%)、86人(9.5%)、野菜類及びその加工品が1件(3.8%)、4人(0.4%)の順であった。

原因食品の種別	食中毒		集団食中毒(再掲)		散発食中毒(再掲)	
	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)	事件数(割合)	有症者数(割合)
原因食品が判明したもの	26 (100)	901 (100)	15 (100)	880 (100)	11 (100)	21 (100)
食事特定	12 (46.2)	773 (85.8)	12 (46.2)	773 (85.8)		
魚介類	フグ	6 (54.5)	11 (52.4)		6 (54.5)	11 (52.4)
	その他	5 (19.2)	27 (3.0)	1 (6.7)	21 (2.4)	4 (36.4)
菓子類	2 (7.7)	86 (9.5)	2 (7.7)	86 (9.5)		
野菜類及びその加工品	1 (3.8)	4 (0.4)			1 (3.8)	4 (0.4)

オ 月別の発生状況

広島県内の事件数では、件数の多い順に5月が10件、2月が9件、4月が8件となっている。有症者数では11月が365人、2月が216人、12月が174人の順であった。

発 生 月		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	総計
食 中 毒	事 件 数	6	9	5	8	10	5	3	6	1	7	6	3	69
	有 症 者 数	16	216	87	11	34	6	3	27	4	9	365	174	952
	死 者 数													
集 団 食 中 毒 (再掲)	事 件 数	1	5	2	0	1	0	0	1	0	0	3	2	15
	有 症 者 数	7	212	84	0	24	0	0	21	0	0	360	172	880
	死 者 数													
散 発 食 中 毒 (再掲)	事 件 数	5	4	3	8	9	5	3	5	1	7	3	1	54
	有 症 者 数	9	4	3	11	10	6	3	6	4	9	5	2	72
	死 者 数													

カ 主な食中毒事件（有症者100人以上）

No	発生日	発生場所	有症者数	死者数	原因食品	病因物質	原因施設
1	2月19日	広島市	116	0	2月19日及び20日に調製した弁当	ノロウイルス	仕出屋
2	11月10日	広島市	228	0	不明(11月9日夕食～13日朝食)	ノロウイルス	旅館
3	12月5日	三原市	143	0	12月4日・5日・6日に提供した料理	ノロウイルス	飲食店

平成27年食中毒発生状況

1 広島県(広島市、呉市、福山市を含む)内で発生した集団食中毒

事件番号	発生日	発生場所	喫食者数	有症者数	原因食品	病因物質	原因施設	喫食場所	潜伏時間	症状(%)	事件概要	発生要因
1	1月17日	広島市	13	7	01月16日に提供した料理	カンピロバクター	飲食店	飲食店	46.9	嘔吐(8/6) 下痢(7/1) 頭痛(4/3) 悪寒(4/3)等	飲食店が提供した食事を喫食した7名が発症した。(営業禁止1/23-2/4)	肉類と未加熱で提供する野菜類の仕込みを、同じ作業区域で、同じ従事者が順序を煩雑に行い、器具類の使い分けが徹底されていなかったこと、専用の手指消毒設備が取り外され、従事者の手指洗浄消毒が十分でなかったこと等から、肉類からの二次汚染が原因の可能性が高いと考えられた。
2	2月17日	尾道市	25	18	02月16日に提供した料理	ノロウイルス	旅館	旅館	30.6	下痢(10/0) 嘔吐(8/9)等	旅館が提供した食事を喫食した18名が発症した。(営業禁止2/20-2/23)	手洗い設備が活用されていなかったこと、魚介類の下処理が粗悪な状態で適切に行われていなかったこと、調理器具の洗浄殺菌が十分行われていなかったことが原因と考えられた。
3	2月19日	広島市	163	116	02月19日及び20日に調整した弁当	ノロウイルス	仕出屋	事業場	39.0	下痢(8/3) 嘔吐(7/4) 嘔吐(6/6)等	仕出屋が製造した弁当を喫食した116名が発症した。(営業禁止2/22-2/27)	体調不良の従事者が調理に従事し、従事者及び施設(便所)の拭き取り検査からノロウイルスが検出されたこと、調理場内の手指洗浄消毒設備が撤去されていたことから、従事者が手指洗浄消毒を十分に行わず調理や盛り付けを行い、食品を汚染したと推察された。
4	2月25日	呉市	31	21	02月24日に提供した給食	ノロウイルス	病院(給食施設)	病院	33.0	下痢(7/6) 嘔吐(6/6) 発熱(4/2)	給食施設が提供した食事を喫食した21名が発症した。(業務禁止2/28-3/2)	調理従事者からノロウイルスが検出されたことから、調理従事者の手指等を介した食品への汚染が考えられた。
5	2月26日	廿日市市	167	26	02月25日及び26日に提供した仕出し料理(推定)	ノロウイルス	仕出屋	事業所	28.1	嘔吐(8/9) 下痢(10/0) 発熱(5/4)	施設で調整された仕出し弁当を喫食した26名が発症した。(営業禁止3/2-3/5)	従事者の使用後の手洗い不備により汚染が拡大し、さらに衛生手袋着用前の手洗いが十分に実施されなかったため、手指を介して食品が汚染されたと考えられる。
6	2月26日	呉市	71	31	02月25日の昼食に園内調理した食事(推定)	ノロウイルス	学校(その他)	幼稚園	30.0	下痢(7/7) 嘔吐(8/1) 発熱(5/1)	施設で園児等が調理した食事を喫食した31名が発症した。	調理従事者の手指を介した食品への汚染が考えられた。
7	3月1日	安芸高田市	100	57	02月28日に製造した菓子	ノロウイルス	菓子製造所	自宅等	31.4	嘔吐(8/9) 下痢(5/8) 嘔吐(5/3)	施設が製造した和菓子等を喫食した57名が発症した。(営業禁止3/4-3/13)	ノロウイルスに感染した従事者の手洗い不十分により、手指を介し製品を二次的に汚染したこと、手洗い後のタオルを共有していたこと等が原因であったと考えられる。
8	3月27日	福山市	35	27	03月24日夕食-26日昼食で提供した食事	ノロウイルス	その他	施設	不明	嘔吐(8/9) 発熱(7/8) 下痢(5/9)等	施設が提供した食事を喫食した27名が発症した。(営業禁止3/30-4/3)	ノロウイルスに感染した従事者の手洗い不十分により、手指を介し調理器具や食材を二次的に汚染したこと、食材の加熱が不十分であったこと、食材から汚染を受けた施設・調理器具の消毒不十分であったこと等が考えられる。
9	5月17日	広島市	67	24	05月16日に提供した料理	ノロウイルス	旅館	旅館	36.1	下痢(7/9) 嘔吐(7/1) 嘔吐(4/6)等	旅館が提供した食事を喫食した24名が発症した。(営業禁止5/22-5/26)	調理従事者便からノロウイルスが検出されたことから、従事者の手指を介した食品への汚染や、トイレから施設及び従事者に汚染が広がり、食品又は食器等が汚染されたことが原因と考えられた。
10	8月4日	広島市	73	21	08月4日に提供したさばの味噌煮	ヒスタミン	給食施設(保育所)	保育所	0.2	口の周りの紅腫(10/0) 嘔吐(発疹(5)	給食施設が提供したさばの味噌煮を喫食した21名が発症した。(業務禁止8/6-8/7)	食品からヒスタミン(さばの味噌煮:89mg/100g、原材料のさば:93mg/100g)が検出されたことから、さばの味噌煮を原因食品と断定した。流通から調理の間で長時間の室温放置が確認できなかったことから、低温腐敗が生じたと考えられた。
11	11月10日	広島市	671	228	0不明(11月9日夕食-13日朝食)	ノロウイルス	旅館	旅館	不明	嘔吐(7/6) 31.2 嘔吐(6/1) 夕食 嘔吐(5/8) 43.8 下痢(5/3)等	旅館が提供した食事を喫食した228名が発症した。(営業禁止11/13-11/19)	ノロウイルスが検出された従事者は一部食品及び食器に触れる行為があり、ノロウイルスが検出された便と共用のトイレを使用したため、従事者の手指洗浄消毒不十分により、食品又は食器等を汚染したと考えられた。さらに、消毒不十分の共用トイレを介して他の従事者に汚染が広がり、汚染が継続したと推察された。
12	11月22日	福山市	219	52	011月21日及び22日に提供した食事	ノロウイルス	飲食店	飲食店	37.2	下痢(7/9) 吐き気(5/4) 悪寒(5/2)等	飲食店が提供した食事を喫食した52名が発症した。(営業禁止12/1-12/4)	日常的にシンクで手洗いを実施していたことから、シンクを汚染し調理器具等を二次的に汚染したこと、従事者用トイレに廃物置き設備がなく、調理場内を汚染したこと、11月22日、22日は通常以上の調理を行っていたことから、人的能力を超えていたこと等が考えられる。
13	11月25日	尾道市	175	80	011月24日及び25日に提供した弁当	ノロウイルス	仕出屋	配送先の事業所、自宅	33.5	下痢(8/3) 嘔吐(6/9)等	弁当業者が製造した弁当を喫食した80名が発症した。(営業禁止11/27-12/2)	ノロウイルスが検出された従事者1名の手指を介した食品の汚染、回収した弁当容器の洗浄殺菌不足によるノロウイルスの残存、盛り付け作業中の配達担当者の詰め合わせ室への出入りによるノロウイルスの持ち込みが原因であったと考えられた。
14	12月5日	三原市	406	143	012月4日・5日・6日に提供した料理	ノロウイルス	飲食店	飲食店	32.8	下痢(9/9) 嘔吐(7/3)等	12/4-12/6に飲食店が提供した食事を喫食した143名が発症した。(営業禁止12/7-12/14)	ノロウイルスが検出された従事者の中には、体調不良であった者がいたこと、体調不良でなかったがトイレ使用後に十分な手洗いを行っていなかったことから、複数の調理済み食品が汚染されたと考えられた。
15	12月24日	世羅町	150	29	0いちご大福(12月21日に製造した製品)	ノロウイルス	菓子製造所	職場 自宅	38.2	下痢(7/6) 嘔吐(6/2) 発熱(4/1)等	施設が製造したいちご大福を喫食した29名が発症した。(営業禁止12/27-12/31)	作業及び作業中に手洗いが行われていなかったこと、ノロウイルスが検出された従事者4名のうち、3名が製造に従事していたことから、従事者の手指を介して施設が汚染されたものと推察された。

6名以上の有症者がある場合を集団食中毒として計上

2 平成27年特異な食中毒発生状況

事件番号	発生日	発生場所	喫食者数	有症者数	原因食品	病因物質	原因施設	喫食場所	潜伏時間	症状	事件概要	発生要因
1	1月9日	東広島市	2	2	0ふく(種類不明)の刺身・肝	フグ毒(テトロドトキシン)(推定)	家庭	家庭	0.3	手・口唇のしびれ(不明) 呼吸困難等(不明)	親族が釣ったフグを喫食した2名が発症した。	カワハギの肝と誤認し喫食したと考えられる。
2	4月26日	広島市	2	2	0コモンフグ(推定)の筋肉	フグ毒(テトロドトキシン)(推定)	家庭	家庭	4.0	ふらつき(100) 口唇のしびれ(50)等	知人が釣ったフグを喫食した2名が発症した。	フグ筋肉残品から、フグ毒(140MU/g)が検出されたが、皮付きで凍結解凍を行っており、皮から筋肉にフグ毒が移行した可能性はないと考えられた。また遺伝子検査や近海の生態状況、個体の大きさ、ひれの形状から、コモンフグであると推定された。
3	6月21日	福山市	2	2	0ふくの刺身、ふくの肝臓(キモ)(種類不明)	フグ毒(テトロドトキシン)(推定)	飲食店	飲食店	不明	口唇の痺れ・麻痺(100) 呼吸困難(100)等	飲食店が提供したふくの刺身、ふくの肝臓(キモ)を喫食した2名が発症した。(営業禁止6/22-7/3)	ふくの種別を十分に行わず、当該施設においてふくの処理を行い、有毒部位の肝臓(キモ)を提供したこと、フグに関わる関係法令等の情報が十分得られていなかったこと等が考えられる。
4	8月15日	江田島市	5	2	0ふく(種類不明)の頭及びアラのみそ汁	フグ毒(テトロドトキシン)	家庭	家庭	0.5	手・口唇のしびれ(不明) 呼吸困難等(不明)	親戚が釣ったフグを喫食した2名が発症した。	フグに対する知識不足が原因と考えられる。
5	9月15日	三次市	4	4	0クサウラベニタケ	植物性自然毒	家庭	家庭	0.5	下痢(10/0) 嘔吐(10/0)	山で採取したキノコを家庭で調理し、4名が発症した。	クサウラベニタケの誤食
6	10月19日	大竹市	2	2	0ふく(種類不明)の肝臓	フグ毒(テトロドトキシン)(推定)	家庭	家庭	2.0	手・口唇のしびれ(不明) 嘔吐等(不明)	知人が釣ったフグを喫食した2名が発症した。	魚種の種別を十分に行わなかったためと考えられる。
7	10月22日	江田島市	1	1	0ふく(種類不明)の塩焼	フグ毒(テトロドトキシン)(推定)	家庭	家庭	1.0	しびれ(10/0) 嘔吐等(10/0)	釣ったフグを喫食した1名が発症した。	フグに対する知識不足が原因と考えられる。

平成27年集団食中毒(県内分)

県	事件数(件)	有症者数(名)	死者数(名)
県立	6	353	0
広島市	5	396	0
呉市	2	52	0
福山市	2	79	0
合計	15	880	0

平成27年散発食中毒(県内分)

県	事件数(件)	有症者数(名)	死者数(名)
県立	7	13	0
広島市	42	51	0
呉市	3	5	0
福山市	2	3	0
合計	54	72	0

別表2

年次別食中毒発生状況

(広島県)

(単位: 件, 人, %)

(全国)

(単位: 件, 人, %)

年次	件数	患者数	死者数	り患率	1事件当 たり患者 数
31	38	1,113	9	51.5	29.3
32	32	370	14	19.0	11.6
33	49	1,107	15	50.7	22.6
34	45	624	11	28.6	13.9
35	47	856	11	39.3	18.2
36	42	1,412	12	64.8	33.6
37	48	2,010	14	90.7	41.9
38	42	787	14	35.8	18.7
39	46	1,356	9	60.8	29.5
40	33	684	14	20.5	20.7
41	55	1,799	11	75.8	32.7
42	37	878	15	37.5	23.7
43	51	768	14	32.4	15.1
44	34	1,274	6	52.9	37.5
45	23	615	4	25.2	26.7
46	35	1,428	6	57.4	40.8
47	22	1,054	0	41.7	47.9
48	23	1,005	1	39.1	43.7
49	35	766	2	29.5	21.9
50	43	922	3	35.1	21.4
51	24	251	4	9.5	10.5
52	37	569	4	21.3	15.4
53	49	1,519	6	56.3	31.0
54	34	744	3	27.9	21.9
55	26	512	2	18.7	19.7
56	21	522	1	19.1	24.9
57	27	923	1	33.4	34.2
58	21	1,074	0	38.7	51.1
59	17	272	0	9.8	16.0
60	25	1,047	0	37.1	41.9
61	20	598	0	21.7	29.9
62	16	789	0	27.8	49.3
63	16	1,003	0	35.3	62.7
元	15	823	1	29.0	54.9
2	22	1,355	0	47.5	61.6
3	29	3,084	0	107.8	106.3
4	24	843	0	29.5	35.1
5	13	824	2	28.8	63.4
6	16	524	0	18.0	32.8
7	18	506	0	17.6	28.1
8	25	792	2	27.5	31.7
9	342	1,677	0	58.2	4.9
10	1,088	2,815	1	97.7	2.6
11	1,149	2,531	1	87.7	2.2
12	782	1,567	0	54.4	2.0
13	770	1,530	0	53.1	2.0
14	719	1,889	0	65.8	2.6
15	561	2,071	0	71.9	3.7
16	578	1,214	0	42.2	2.1
17	541	1,203	0	41.8	2.2
18	294	773	0	26.9	2.6
19	259	1,489	1	51.8	5.7
20	271	1,590	0	55.3	5.9
21	155	411	0	14.3	2.7
22	158	538	0	18.8	3.4
23	116	380	0	13.3	3.3
24	110	2,698	0	94.7	24.5
25	71	269	0	9.5	3.8
26	95	802	0	28.3	8.4
27	69	952	0	33.7	13.8

年次	件数	患者数	死者数	り患率	1事件当 たり患者 数
31	1,665	28,286	271	31.3	17.0
32	1,716	24,164	300	26.5	14.1
33	1,911	31,056	332	33.8	16.3
34	2,468	39,899	318	42.9	16.2
35	1,877	37,253	218	39.9	19.8
36	2,631	53,362	238	56.6	20.3
37	1,916	38,166	167	40.1	19.9
38	1,970	38,344	164	39.9	19.5
39	2,037	41,638	146	42.8	20.4
40	1,208	29,018	139	29.5	24.0
41	1,400	31,204	117	31.5	22.3
42	1,565	39,760	120	39.6	25.4
43	1,093	33,041	94	32.6	30.2
44	1,360	49,396	82	48.1	36.3
45	1,133	32,516	63	31.3	28.7
46	1,118	30,731	46	29.3	27.5
47	1,405	37,216	37	35.0	26.5
48	1,201	36,832	39	33.9	30.7
49	1,202	25,986	48	23.6	21.6
50	1,783	45,277	52	40.4	25.4
51	831	20,933	26	18.5	25.2
52	1,276	33,188	30	29.1	26.0
53	1,271	30,547	40	26.5	24.0
54	1,168	30,161	22	26.0	25.8
55	1,001	32,737	23	28.0	32.7
56	1,108	30,027	13	25.5	27.1
57	923	35,535	12	30.1	38.5
58	1,095	37,023	13	31.2	33.8
59	1,047	33,084	21	31.2	31.6
60	1,177	44,102	12	36.4	37.5
61	899	35,556	7	29.2	39.6
62	840	25,368	5	20.7	30.2
63	724	41,439	8	33.9	57.2
元	927	36,479	10	29.6	39.4
2	926	37,561	5	30.4	40.6
3	782	39,745	6	32.0	50.8
4	557	29,790	6	23.9	53.5
5	550	25,702	10	20.6	46.7
6	830	35,735	2	28.0	43.1
7	699	26,325	5	21.1	37.7
8	1,217	46,327	15	36.8	38.1
9	1,960	39,989	8	31.7	20.4
10	3,010	46,179	9	36.6	15.3
11	2,697	35,214	7	27.8	13.1
12	2,247	43,307	4	34.2	19.3
13	1,928	25,862	4	20.4	13.4
14	1,850	27,629	18	21.7	14.9
15	1,584	29,341	6	23.0	18.5
16	1,666	28,175	5	22.1	16.9
17	1,545	27,019	7	21.3	17.5
18	1,491	39,026	6	30.5	26.2
19	1,289	33,477	7	26.2	26.0
20	1,369	24,303	4	19	17.8
21	1,048	20,249	0	15.8	19.3
22	1,254	25,972	0	20.3	20.7
23	1,062	21,616	11	16.9	20.4
24	1,100	26,699	11	20.9	24.3
25	931	20,802	1	16.3	22.3
26	976	19,355	2	15.2	19.8
27	1,202	22,718	6	17.9	18.9

(注) り患率は人口10万人に対するものである。

別表3

病 因 物 質 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位: 件, 人)

病因物質	年次	27			26			25			24			23		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0	116	380	0
細菌	計	42	54		74	193		55	78		81	151		92	141	
	小腸炎				70	134		53	76		72	88		84	119	
	腸原性				2	16		2	2		5	5		6	8	
	ブドウ球菌															
	大腸菌				2	43					1	25				
	アシシロモ										2	20		1	2	
	アシシロモ															
	アシシロモ															
	アシシロモ															
	アシシロモ										1	13				
化学		1	21											1	12	
口		13	852		13	584		7	148		20	2,502		7	74	
自然		7	15		6	8		5	8		2	3		3	3	
動		6	11		4	4		4	7		1	1		3	3	
植		1	4		2	4		1	1		1	2				
その他		6	10		2	17		2	9		5	21		4	65	
不明					0	0		2	26		2	21		10	97	

別表4

原 因 施 設 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位: 件, 人)

施設	年次	27			26			25			24			23		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	69	952		95	802	0	71	269	0	110	2,698	0	116	380	0
飲食	店	4	204		23	347		11	88		19	271		14	138	
	所				1	15					2	64				
家事	庭	8	17		6	8		3	5		6	25		8	10	
	所	2	86								1	81				
製	館	3	270		2	40		1	61		5	54		4	82	
	業	3	222		2	325		3	45		2	2,054		3	32	
旅	院	1	21													
	校	1	31					1	16		1	66				
任	店							1	1		1	9		1	5	
	舎															
病	所	1	21													
	他	1	27		1	15										
学	所															
	明	1														
販	所															
	明	1														
寄	所															
	明	1														
保	所															
	明	1														
そ	所															
	明	1														
不	所															
	明	45	53		60	52		51	53		73	74		86	113	

別表5

原因食品別食中毒発生状況

(単位: 件, 人)

病因物質	年次	27			26			25			24			23		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総数		69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0	116	380	0
複合調理食品											4	172				
魚介類	ふぐ	6	11		4	4		4	7		1	1		3	3	
	貝類															
	その他の	5	27		2	17		2	9		3	19		4	69	
魚介類加工品	魚肉ねり製品															
	その他の															
穀類及びその加工品											1	66		1	12	
野菜類及びその加工品	きのこ類	1	4					1	1							
	豆類															
	その他の				2	4										
菓子類		2	86													
肉類及びその加工品					1	15					1	1		1	7	
卵類及びその加工品																
乳類及びその加工品																
その他の		12	773		22	684		13	199		25	2,362		16	167	
不明		43	51		64	78		51	53		75	77		91	122	

別表6

摂取場所別食中毒発生状況

(単位: 件, 人)

施設	年次	27			26			25			24			23		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総数		69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0	116	380	0
家庭		9	74		6	8		4	6		7	34		8	32	
飲食店		4	204		21	304		11	88		19	259		14	138	
事業所		4	243		1	15		1	10		4	2,130				
旅館		3	270		2	40		1	61		5	54		4	82	
学校		2	58		2	329		1	16		2	147		1	7	
製造所																
病院		1	21													
その他の		1	29		2	39		2	35					1	12	
不明		45	53		61	67		51	53		73	74		88	109	

別表7

月 別 食 中 毒 発 生 状 況

(単位：件，人)

月	年次	27			26			25			24			23		
		件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数	件数	患者数	死者数
総	数	69	952	0	95	802	0	71	269	0	110	2,698	0	116	380	0
1		6	16		5	351		5	74		8	162		10	34	
2		9	216		6	126		2	4		9	44		8	20	
3		5	87		8	19		4	12		10	85		5	17	
4		8	11		8	33		8	32		9	21		7	17	
5		10	34		13	43		7	7		6	21		12	19	
6		5	6		12	43		3	3		11	35		17	69	
7		3	3		12	21		6	21		8	11		6	20	
8		6	27		10	16		13	16		14	62		7	7	
9		1	4		3	4		4	4		10	10		18	49	
10		7	9		4	18		4	4		9	14		10	37	
11		6	365		9	53		9	13		4	15		11	79	
12		3	174		5	75		6	79		12	2,218		5	12	

(2) 食中毒警報発令事業

ア 事業実施期間 毎年6月1日から10月31日まで

イ 平成27年度の発令回数及び日数 1回(85日)

ウ 食中毒警報発令状況(平成6年~平成27年)

年次 (事件数)	区分	実施期間(月) (発生件数)	発令回数及び発令期間			警報発令期間		警報解除期間		
			号	月日~月日	日数	発生件数	日数	発生件数(a) a/(a+b)×100	日数	発生件数(b) b/(a+b)×100
6 (16)		6~10 (5)	1	6.6~10.18	134	4	134	4 (80.0)	19	1 (20.0)
7 (18)		6~10 (7)	1	6.27~9.20	85	6	85	6 (85.7)	68	1 (14.3)
8 (25)		6~10 (16)	1	6.17~10.28	133	13	133	13 (81.2)	20	3 (18.8)
9 (33)		6~10 (22)	1	6.19~10.15	118	21	118	21 (95.5)	35	1 (4.5)
(309)		(217)				174		174 (80.2)		43 (19.8)
10 (44)		6~10 (24)	1	6.19~10.26	129	21	129	21 (87.5)	24	5 (12.5)
(1,044)		(647)				594		594 (91.8)		53 (8.2)
11 (34)		6~10 (20)	1	6.17~10.31	136	20	137	20 (100)	16	0 (0)
(1,115)		(644)				603		603 (93.6)		41 (6.4)
12 (31)		6~10 (20)	1	7.3~10.11	100	17	100	17 (85.0)	53	1 (15.0)
(751)		(461)				336		336 (72.9)		125 (27.1)
13 (32)		6~10 (8)	1	6.11~6.19	8	6	108	6 (75.0)	45	1 (25.0)
(738)		(427)	2	7.2~10.10	100	325		325 (76.1)		102 (23.9)
14 (29)		6~10 (16)	1	6.3~6.24	21	13	126	13 (81.2)	27	1 (18.8)
(690)		(444)	2	7.5~10.18	105	384		384 (86.5)		60 (13.5)
15 (19)		6~10 (13)	1	6.9~10.6	119	13	119	13 (76.9)	34	3 (23.1)
(541)		(290)				253		253 (87.2)		37 (12.8)
16 (18)		6~10 (8)	1	6.4~10.4	122	7	122	7 (87.5)	31	1 (12.5)
(560)		(315)				261		261 (82.9)		54 (17.1)
17 (20)		6~10 (10)	1	6.9~10.11	124	7	124	7 (70.0)	29	3 (30.0)
(521)		(310)				266		266 (85.8)		44 (14.2)
18 (17)		6~10 (11)	1	6.16~10.17	123	10	123	10 (90.9)	30	1 (9.1)
(277)		(149)				127		127 (85.2)		22 (14.8)
19 (22)		6~10 (8)	1	6.28~10.24	118	8	118	8 (100)	35	0 (0)
(237)		(125)				100		100 (80.0)		25 (20.0)
20 (24)		6~10 (10)	1	7.2~10.6	96	5	96	5 (50.0)	57	5 (50.0)
(249)		(152)				102		102 (66.2)		52 (33.8)
21 (12)		6~10 (2)	1	6.15~10.5	112	1	112	1 (50.0)	41	1 (50.0)
(143)		(62)				50		50 (80.6)		12 (19.4)
22 (28)		6~10 (11)	1	6.11~10.6	117	7	117	7 (63.6)	36	4 (36.4)
(130)		(58)				44		44 (75.9)		14 (24.1)
23 (20)		6~10 (9)	1	6.24~10.5	103	5	103	5 (55.6)	50	4 (44.4)
(96)		(50)				32		32 (64.0)		18 (36.0)
24 (24)		6~10 (5)	1	6.25~10.9	106	4	106	4 (80.0)	47	1 (20.0)
(86)		(41)				28		28 (68.3)		13 (31.7)
25 (12)		6~10 (1)	1	6.7~10.15	130	1	130	1 (100.0)	23	0 (0.0)
(59)		(29)				27		27 (93.1)		2 (6.9)
26 (22)		6~10 (5)	1	6.2~9.24	114	4	114	4 (80.0)	39	1 (20.0)
(73)		(36)				31		31 (86.1)		5 (13.9)
27 (15)		6~10 (1)	1	7.13~10.6	85	1	85	1 (100.0)	68	0 (0.0)
(54)		(21)				8		8 (38.1)		13 (61.9)

(注) 発生件数は、食中毒事件数を示す。
発令日数に、解除日は含まず。
平成9年以降の上位は集団、下位は散発事例を示す。